



社会医療法人近森会

発行

2014年5月25日

# びろっぱ

# 6

Vol.335

www.chikamori.com ● 高知県高知市大川筋一丁目1-16 〒780-8522 tel. 088-822-5231 発行者 ● 近森正幸 / 事務局 ● 川添昇

## 循環器内科主催

## 心臓カテーテル院内LIVE

近森病院循環器内科  
科長 山本 哲史



このたび、冠動脈カテーテル治療（Percutaneous Coronary Intervention：PCI）の院内ライブ中継を開催させていただきました。きっかけは今年10月に「四国血管内イメージング研究会」のライブ中継を当院で開催することになり、その予行練習を兼ねて、院内向けのライブを行うこととなりました。

当日は150名にも達する、さまざまな職種の方々に参加いただき、また、5時間半を超える長丁場にも関わらず、最後まで熱心に聴講いただきました。

もご理解いただけたのではないかと思います。声が小さかったり、専門用語



▼会議室では造形動画とカメラ撮影分の2画面で見ることができる

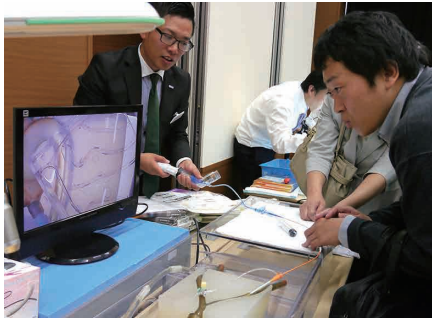


◀カテ室での撮影が会議室で生中継される

や略語を使用したりと、なにかと至らない箇所も多々あったかとは思いますが、これら反省を生かし、10月のライブはより良いものにしたいと考えております。

当科ではPCIのみならず末梢動脈疾

2面に続く



▲ハンズオン風景

た。職員の向学心の高さを感じるとともに、これだけ多くの職種の方々に支えられ、我々の日々の診療が成り立っているのだと、改めて有り難く思いました。

カテーテル室内では医師、看護師、生理検査技師、臨床工学技士らがチームとして働いておりますが、今回のライブを通じ、病棟看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ療法士、医事課等々、もっともっと大きなチームで働いていることが実感できました。

一概にPCIといいますが、その治療法の選択枝はさまざまで、それらのいくつかをお見せすることが出来ました。普段、カルテや伝票でしか見ない治療法や物品について、多少なりとで

## 散歩の効用



近森 正幸

最近の血液検査で、中性脂肪の値と血糖値がジリジリと上昇していて、食べすぎと運動不足がはっきりしてきた。好きなワインの飲みすぎもあるが、この7、8年散歩もしていないし、最近は忙しさにかまけて身体を動かすこともほとんどなくなっている。

そこで、一カ月前からいつもより一時間前に起きて、歩くコースは日によってまちまちだが、毎朝45分から60分ほどを目安に妻と一緒に歩くこ

とにしている。運動不足からか最初の5日間は筋肉痛がひどかった。それでも、魚が飛び跳ねている川面や小魚の泳ぐさま、この時期の花の多さやクスノキの新緑なども味わうことができ、徐々に余裕が出てきた。

調子に乗って、休みの日は昼間も天気がいいと車を使っていたところをできるだけ歩いて行くようになった。甫喜ヶ峰の森林公園や岡豊城跡、五台山などを散策するようになった。しかし、山道で虫にくわれるは、血液検査の改善もいま一つで、減量も1kg余りとまだまだたいした効果は現れていない。

車で移動していると、周りのことにほとんどなにも気づかないが、歩いているとふだん感じられないことも、感覚的に身体に入ってきて好奇心を刺激してくれる。歩く速度は、いろいろなものを気づかせてくれるのにちょうどいい速度なのかもしれない。

毎朝散歩をすることで、夫婦の会話の時間がとれ出したことが何よりも嬉しい。

理事長・ちかもり まさゆき

## 1面から続く

患に対する血管内治療（EndoVascular Therapy: EVT）や、不整脈に対するカテーテル治療（RadioFrequency Catheter Ablation: RFCA）、大動脈弁狭窄症に対するバルーン拡張術（balloon aortic valvuloplasty: BAV）等も行って

おります。

今後はこれらも含めたライブを行って行きたいと考えております。さらに、日頃お世話になっております近隣の先生方も招きして、我々の診療の一端をご覧いただき、ご理解を深めていただく機会にしたいと考えております。

最後になりますが、当日治療を行いました四症例全てが何ら問題なく治療を終えることができ、何よりであったと思っております。また、ライブにご協力いただきました患者さんにも心からお礼を申し上げます。

やまもと さとし

## ザ・RINSHO 20 臨床栄養部の今昔 10

## 三本の矢

近森病院臨床栄養部  
科長 佐藤 亮介

戦国大名・毛利元就は、三人の息子たちに「一本では容易く折れる矢も、三本纏めれば折れない…」と諭しました。毛利家の家訓として語り継がれる有名な話です。

この春、当部署では二名の主任心得が「主任」に昇格し、内山里美、有光純子、和田早織、三名の主任による体

制が整いました。若き管理栄養士たちの指導者として相談役として頼りになる存在であります。

元就の談では、一本の矢だと折れるのですが…、当部署の“三本の矢＝三主任”は、実に一本でもなかなか折れない…、更に三本纏まってしまうと鋼鉄の様にビクともしない。これからも三本の鋭利な矢じりに突かれる毎日が



▲向かって左から和田早織、有光純子、内山里美の各主任

続くかと思うと背筋の凍る思いであります。絶対、敵には回したくない3人です…。とはいえ、この10年、苦楽をともにしてきた同志であります、改めて、「いつも、ありがとう、これからも宜しくお願いします」と伝えたいと思います。 さとう りょうすけ

## 6月の歳時記

## 時計草

近森病院透析室臨床工学技士  
大崎 志保



小さいころから自宅の庭で、白地に紫色の花が咲いていました。その花が「時計草」と知ったのはもう少し後のことでしたが、その花がとても好きでした。6月の花ということで調べてみると、私の誕生日花でもありました。不思議な縁を感じる今日このごろです。ちなみに、パッションフルーツはこの時計草の仲間なんだそうです。 おおさき しほ



絵・総務課広報担当  
公文幸子

今回も釣りの話。室戸の病院に勤めていた時、職員のN君たちに「明日グレ釣りに行きませんか」と誘われた。グレがどんな魚かも知らないまま行く約束をし、家に帰って釣り道具をひっぱり出し翌朝早く集合場所に出かけて行った。N君たちは私の格好や大袈裟な釣り道具を見て、「クジラでも釣るつもりですか」と大笑いだった。それでも釣り道具を一式借りて、釣り方を教えてもらいながら釣りを始めた。なかなか難しく、その日私は何も釣ることが出来なかったが、N君たちは次々と釣り上げ、そのスリリングなやりとりを見てすっかりこの釣りに魅せられてしまった。

以来、宮崎先生（現総合心療センター副センター長）を誘って一緒に磯のグレ釣りに出かけるようになった。日振島、武者泊、沖ノ島などいろいろ釣行した。大した釣果はなかったが、それぞれに懐かしい思い出がある。最近では精神科スタッフたちと釣り大会など開催して皆で楽しんでいる。

O先生も釣りが好きであった。講演会の後など酒を飲みながらよく釣りの話をした。「鮎をえさ釣りで100匹

釣ったよ」などと自慢もされていた。

ある日も釣りの話になり、「グレ釣りはどうですか」と尋ねると「僕はもう磯釣りはやめました」といわれた。不思議に思っただけでその理由を尋ねると、釣りに行って磯に渡る際、足を滑らせ海に落ちたとのこと。大騒ぎとなった

が幸いにも怪我もなく無事に済んで良かったのだが……。

その1週間後居酒屋で酒を飲んでいたら、少し離れた場所で男性二人が酒を飲み笑いながら釣りの話をしていて、聞き耳を立てていると

「1週間前…、磯釣り…、じいさんが海に落ちて…、大騒ぎ…、迷惑な話…」など聞こえてくる。自分の話題になっていると思ったO先生はいても立ってもいられず、すぐに店を出たとのこと。「僕もう年ですから磯釣りはやめます」とO先生。笑いながら少し寂しそうに話されていた。

そんなO先生ももうこの世にはなく私もO先生の気持ちがわかる年齢となった。考えて見ればずいぶん長い間釣りを楽しんできたように思う。釣りを通して、仕事や地位、年令など無関係に、多くの人たちと知り合えたことはほんとうに良かったと思っている。

## 私の流儀 2

## 磯釣りの話



総合心療センター  
センター長  
みょうじん かずひろ  
明神 和弘

## ● 医療今昔物語 ●

## 医師臨床研修制度

# 医師の負担軽減と 地位の保障

近森病院副院長 北村 龍彦



平成16年から始まった医師臨床研修制度（初期・後期・専門医）により画期的な改革と研修体制が整備されました。また、在学中の医学教育も文部科学省、医学教育学会、医学教育振興財団、各学会や関係団体の努力により欧米の教育方法も取り入れながら日本専門医機構の設立により大きな枠組みが整備されています。

平成16年以前は大学卒業と同時に大半が大学の外科や内科の医局に入局し研修を受けるストレート研修で、大学以外の卒後研修を選択する医師は多くありませんでした。大学の医局に入局すると、何年か毎に関連病院に派遣され、平日夜間の当直や土日祭日の日直当直業務にパートで派遣されていました。当時の医師は、非常勤医師として身分の保障がなく給料も低い劣悪な状況で、当直をこなし、一睡もせずに外来や手術、患者さんの管理を行い、また急患で診療を行うこともしばしばありました。

休業時代の医師はこういうものだと、心の奥に高い理想と志を秘めて臨床、研究、教育をこなししていました。

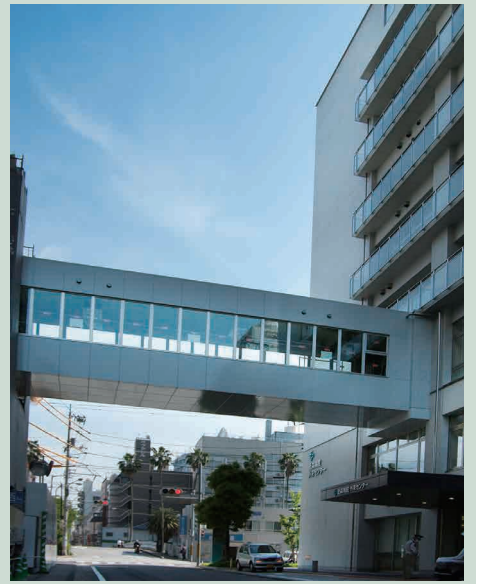
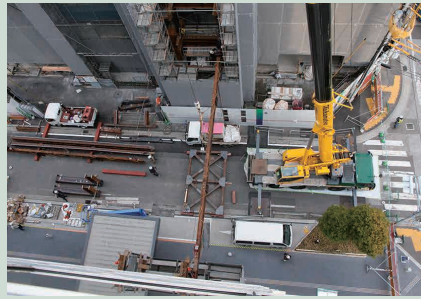
知らないうちに年を取り、足の裏のご飯粒と揶揄された学位（博士号）を取得、各科の認定医、専門医、指導医の資格を取得する流れでした。それが、現在では臨床研修制度により、医師の身分や給与も保証され、多職種によるチーム医療や医師補助業務担当者により医師の業務の軽減がはかられ、当直

明けは手術をしないことに診療報酬で加算をつけて、医師の負担軽減と過重労働対策や医療安全の確保に繋げる時代となりました。それと同時に専門医取得の標準化、経験症例のコンピュータによるオンライン登録、データベース化も図られています。医療制度、医学会の制度やあまたの情報を把握していないと格差はますます拡大し、医師として責務を果たせない時代に突入しています。

若い医師には特に巨視的、鳥瞰的、俯瞰的、マクロの視点と微視的、ミクロ、虫の目の視点と魚の眼、コウモリの眼、人の眼で成長してほしいものです。 きたむら たつひこ

## ● 外来センターと新A棟（建築中）を結ぶ 連絡通路完成 ●

今年3月初めに一本のH鋼が渡されて（写真下）1カ月半後の5月12日に覆いが取れて、外来センターと新しいA棟建物の間を結ぶ連絡通路が姿を現しました。地面からの高さ約7.5m、通路の高さ約4.5m、幅約21m。8月の本館A棟オープン時より使用開始。



### 近森会グループ

#### 職員数

1,867人 (2014年4月1日現在)

委託を含む実質的な職員規模は2,198人となり、多くのスタッフでチーム医療を展開し、日々患者さんをサポートしています。

### 近森病院

#### 救急車搬入件数

4,837件

院内救急車出動件数 47件  
ドクターカーおよび  
ドクターヘリ出動件数 56件

### 近森病院

#### 手術件数

4,841件

急性期医療に取り組む近森病院では、一刻を争う患者さんが多く、日曜祝日関係なく、1日当たり約13件の手術数です。

### 近森病院

#### 延べ外来患者数

137,140人

地域医療支援病院として地域に密着した医療を展開しています。外来患者さんは1日平均550人（平日）を超えています。

### 近森病院

#### 延べ入院患者数

117,254人

急性期病院として一般病床452床を確保（現在101床分は改築工事中）。常時入院中患者さんは1日平均で321人。

## 数字でみる近森会グループ

### 2013年度の実績

2013年4月～2014年3月

### 近森病院

#### 退院患者数

8,347人

近森病院に入院されている患者さんが1年間に退院された数字です。平均在院日数は13.94日です。

### 近森会グループ

#### 延べ見学者数

431人

見学受け入れ件数は92件。見学の申込は年々増加しています。（実習や部門での個別受入は除く）

### 精神科グループ

#### 総合心療センター

精神科1日平均  
外来患者数 129人

デイケアパティオ 職・再就職者率  
74% (51名) / デイケア 福祉的・  
一般就労率 31% (23名) / ラポール  
ちかもり 月平均271件訪問

### 近森リハビリテーション病院

#### 在宅復帰率

79.4%

重症患者割合 18.7% / 日常生活機能評価10点以上 32.1% / 重症患者改善率 49.2%  
(日常生活機能評価点数4点以上改善)

### 近森オルソリハビリテーション病院

#### 病床稼働率

95.9%

在宅復帰率（施設基準による） / 亜急性期病床 85.9% / 回復期病床 83.9% ※亜急性期は在宅日数60日を超えての在宅復帰者は除外

## 第 132 回地域医療講演会

獨協医科大学越谷病院  
救命救急センター長  
救急医療科教授  
池上敬一先生



# 医療再構築のための 「RRS」の導入にあたって

近森病院救命救急センター  
総合診療科部長 杉本 和彦

当院では、院内急変の発生を未然に防ぎ、発生した事案に対する適切な処置を行うための院内システムである RRS ( Rapid

Response System ) を導入するにあたり、基調講演として、池上敬一先生にご講演いただきました。

「エキスパートナーズ鈴木さん」が、



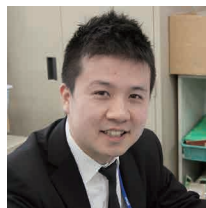
患者さんの急変にどのように対応したかのエピソードから、そのパフォーマンスを分析し、学習者が安全で確実なパフォーマンス能力を上げるためのインストラクショナルデザイン (ID) の一つとして、業務遂行に必要な知識構造 (知識カード) を使用し、エピソードに学習を埋め込むエピソード中心のシミュレーション医療教育教材の提示がありました。

シミュレーション医療教育の原理については学ぶ機会が少なく、職員にとっては少々難しいお話となりましたが、日頃から使える指導法の一つとして、とくに指導的立場にある職員にとっては新鮮で興味深い講演となったようです。RRS は患者安全を職位・職域横断的にカバーする機能を持ち、チーム医療を介して患者中心の医療を再構築する機会として捉えています。病院の医療安全文化を醸成し、結果的に急変に強い病院、いい人材が確保できる病院という視点から推進していきたいものです。 すきもと かずひろ

## Chikamori Challenge Circle (CCC)

### 近森病院から約 3 時間かけて

近森病院地域医療連携室  
医事課 松本 圭司



医事課を中心に始まったこのサークルも、最近は色々な職種の方々に参加していただけるようになり、活動を開始してまもなく 3 年となります。

球技を中心に活動しているサークルですが、今年の 1 月より新企画を始めました。近森病院から桂浜 (約 12 キロ)、南国市後免町駅から夜須町ヤシパーク (約 12 キロ) を約 3 時間かけて

みんなで歩きました。写真は 4 月のヤシパークを目指したときものです。次は西に向けて歩こうと考えています。興味のある方はぜひご参加ください。 まつもと けいし



## 和田事務長の 田舎から その 3

### お茶づくりと柏餅

近森病院総合心療センター  
事務長 和田 廣政

5 月は新緑の季節です。連休は 1 年分の自家用のお茶づくりが忙しくなります。家族総出の作業ですが今年も両親が高齢のため手揉み作業は私にまかされました。

お茶は自宅周辺の畑や石垣にはえていて剪定と少しの肥料だけの自然まかせ 100% 茶葉です。午前中に新芽を手摘みし、大鍋で炒ります。そして熱々の茶葉をムシロの上で手揉みし仕上げたら、ムシロに干して 2 日ほど天日乾燥させると完成です。

新茶に合うお菓子はこどもの日の柏餅が定番ですが、我が家では柏葉のかわりにサルトリイバラを使って蒸し団子を作ります。上新粉ではな

▼手揉みなら  
ではの深い香  
りと味わいが  
引き立つ



▲新茶には昔懐かしい蒸し団子を添えて



くうどん粉 (小麦粉) で作るこしあん入り団子は黄色く見た目上品ではありませんが昭和を思い出させるごちそうです。

▼午前中に新芽を摘み、大鍋で炒る



うどん粉とメリケン粉の違いは省略します。昔はうどん粉とっていましたが懐かしく使いました。 わだ ひろまさ

▼お茶づくりは家族みんなで



# 第2回

# 春休み病院体験ツアー開催！ (職員のご家族限定)

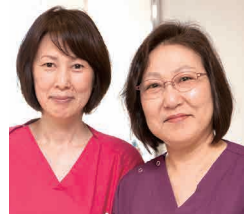
近森病院  
外科部長 八木 健



今回第2回目となる病院体験ツアーが開催され、外科としては初めての参加となりました。中学生、高校生のお子さんが、2日間にわたり朝から夕方まで分刻みのスケジュールで各部署を体験しました。みんな始めは少し緊張していたようですが、疲れた様子もなく楽しそうに糸結びや縫合を体験してくれました。このツアーをきっかけに、子供たちがそれぞれの未来予想図を描いてくれればいいなと思いましたが、若いっていいなあと思ったり、若いうちから医療現場を見て聞いて感じて、病院で働く人たちの理解が深まったと思います。

やぎ けん

▶担当した斎藤シニア師長(左)と筆者  
近森病院北館3階病棟  
看護師長 中島 久美



春休み！ 病院体験ツアーに看護部として斎藤シニア師長と私が参加し、中高校生16名とかかわらせてもらいました。いかに看護師の仕事を楽しみながらわかってもらえるだろうかと考え、新人看護師の研修風景DVDの視聴や聴診器使用の練習や手洗いを実際体験してもらいました。私たちはほんの50分間の関わりでしたが、子供たちは2日間の病院体験を通してお父さんやお母さんの働いている職場を見て聞いて感じて、病院で働く人たちの理解が深まったと思います。

なかじま くみ



循環器内科でカテーテル治療 ▶  
◀臨床検査部で血液型検査中



消化器内科で腹部エコーを



◀ ERのドクターカーで患者さんの気持ちになって ▶  
看護部でレッツ血圧測定 ▶



▶患者食を食べながら、管理栄養士が説明 ▶薬剤部でみんなでパチリ



◀外科にて鏡視下手術模擬体験



▲神経内科で画像を見て



アンケート結果(一部抜粋)	
順位	子どもさんの回答(興味をもった部署)
1位	医師(外科)
2位	医師(ER)
3位	看護部

今回は子どもさんの負担を考え、2日間の日程で全11の部署を体験してもらいました。それぞれの部署が前回以上に中身を充実させてくれたこと、外科や臨床栄養部などの新たな部署が加わったこともあり、開催後のアンケートでは全員が「また参加したい」との回答でした。部署の入れ替えも考慮しながら、夏休みには第3回を企画しています！

診療支援部企画課長 山崎啓嗣

# 精神科認定看護師を取得しました。

近森病院総合心療センター外来  
看護師長 萩原 博



行き先が定まらない思春期に、「これからは男も看護」という母の一言に揺るがされ、看護の道を歩み始めて年齢の半分が過ぎました。そんな節目に、一昨年春から近森会の協力と県の支援を受けながら、日本精神科看護協会の認定看護師制度へチャレンジするこ

ととなり、今年の春に認定を取得することができました。専攻領域は「行動制限最小化看護」です。

精神科医療においては、急性期の精神状態や行動によって、強制的な医療や療養上の制限をせざるを得ない場面も少なくありません。もちろん法律に

基づき、人権に配慮しながら行うのですが、治療上必要と判断された制限も当事者の「安全」に偏ってしまうと、その人の権利が軽視されてしまいます。そして、軽視してしまうことで我々精神科看護師の悩みの種でもある「その人にとってそれでいいのか」という倫理的葛藤が生じてしまいます。今回のチャレンジは、そういった「安全」と「倫理」の間で苦しんでいたのがきっかけでした。2年間という長い道のりでしたが、研修や実習で得た知識や出会いを大切にしながら、当事者の方々の「入院してよかった」という声や、現場のスタッフが「これでよかった」と思えるように専門的な視点で支えていけたらと思います。

4月から病棟を離れ、総合心療センターの外来に配属となりました。先月、日本精神科看護協会高知県支部の研修で「これからの精神科医療」というテーマで話を聴き、そのなかで、「これからは外来機能の充実を」という話がありました。はじめての外来機能に戸惑っている自身にとって、あのときに聞いた「これからは男も看護」という言葉のように感じられ、揺るがされ、またやる気になったように感じています。これからは病院の入り口から皆様を支えられるよう頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。

はぎわら ひろし

## 近森会 保育室 そろと 保育室が1.5倍に拡充されました

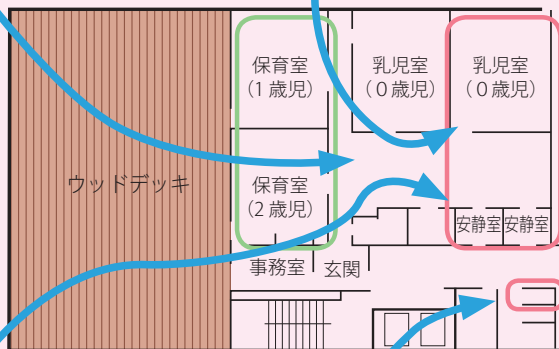


お食事スペースが2倍に広がりました



新しい乳児室

- 緑枠内は3室を2室と広くなりました。
- 赤枠内は新しく拡張されました。



安静室2部屋を新設。具合の悪くなったお子さんが、お迎えまで一時的に休むお部屋です



安静室専用トイレ

## お弁当拝見 25 健康に配慮して



近森病院理学療法士  
岡添 祐也



私のお弁当は毎朝妻が作ってくれます。独身のときは不規則な食生活でしたが、今では料理が得意な妻と結婚したおかげで、毎日おいしいご飯がお腹いっぱい食べられます。しかし、実は最近困っています。

食べ過ぎで気が付くと体重が今まで見たことのない数字に増え、腹回りもぼってりして、更には血圧も高くなってきました。

何とかしようといろいろな運動を試みましたが、どれも三日坊主でした。そんな私を妻が見兼ねて、お弁当のご飯の量を減らして雑穀米にしたり、薄味にしたり、お弁当に入っている梅干しは半分にしたりと気遣ってくれます。運動を指導す

るPTとしては情けない限りですが、ここは妻の協力も得ながら次の健康診断までに3kg減を目指します。いつもおいしいお弁当作ってくれて妻にはほんとうに感謝しています。おかぞえ ゆうや

## FIM 講習会 in 土佐



## 機能評価尺度として

近森リハビリテーション病院  
リハビリテーション科科长 和田 恵美子

5月11日に県内外から143人の参加をいただき無事終了しました。FIM

は日常生活の機能評価尺度であり、最近いちばん使われているADL評価ではないでしょうか。

川崎医療福祉大学の椿原彰夫先生の基調講演から開始し、総論・各論の講義が続くのですが、講義の合間に質問用紙に記載された質問が回収されます。今回は85の質問がよせられ、参加されたみなさんも実際にFIMを使い始めて困っていることが感じられました。

難問、珍問に楽屋裏で格闘しながら



講演中の川崎医療福祉大学  
学長の椿原彰夫先生

講義終了後にQ&Aを行ったのですが、時間内にすべて終了せずご迷惑をおかけしました。今後も継続して講習会を行うことを目標にしていきたいと思えます。

お近くで「FIM」ってちょっとよくわからないと思っている方がいらっしゃいましたら、ぜひ来年ご参加ください。

わだ えみこ

私の趣味

バイク  
ツーリング

オルソリハビリテーション病院  
5階病棟介護福祉士 島中 由樹



私の趣味はバイクツーリングだ。基本一人で走るソロツーが好きだが、ツーリングチームにも所属しており、関東関西方面にも仲間がいて一年に一度はどうかか休みを合わせて一緒に走っている。

走りながらその土地の匂いを感じ、一瞬一瞬で変わってゆく風景を目に焼き付け、全身で風を感じながら何百キロも離れた土地を目指して走る。当然、強風や大雨なんて事態にも遭遇する。そうやってグダグダになりながらも、到達したときの充実感と達成感は何ものにも代え難い喜びとなる。そして宿で疲れ切った体を温泉で癒し、ご馳走とお酒をいただく。これがまた至福の瞬間なのだ。最後に、当然ではあるがバイクはリスクを伴う。健康あつての楽しみであり、命あつての喜びとなる。いちばん大切なのは、無事に帰って来ることなのだ。

今年の夏は信州ツーリング予定。  
ヴィーナスライン行ってきます！

はたけなか ゆき



## ワイン講座 ● 21

ぶどう品種を知り、個性を探る  
白ぶどうその③リースリング

リースリングといえばドイツワイン、そして甘口ワインというイメージをお持ちの方も多いかと思えます。リースリング種は、シャルドネ種に対抗できる世界でも最上の白ぶどうです。

このワインは、辛口から貴腐ワインやアイスワインなどの極甘口ワインまで幅広く造られ、洗練された高貴な酸味と透明感と繊細さ、華やかな香りが特徴です。リースリングの香りは往々にして白い花や桃、ハチミツ、熟成し果実味が枯れつつあるものに重油や石油のような複雑な香りの要素が現れます。

ただ、ほんとうに優れたリースリングを生み出すのは難しく、最高の条件が揃う選ばれた産地でしか真価を発揮しません。そして、優れたリースリングの産地はほう

りーリング/コヤマ・ワイパラ・ワインズ/ニュージーランド、ワイパラ・ヴァレー ● コメント：日本人醸造家 小山氏が2009年より造り出すもの。ピュアで果実味豊か、2013年は特に出来が良かった年。是非日本食と一緒にお試しください。

んとうに少ないのです。

ドイツのほか、フランスのアルザスやオーストラリア、オーストリアでも栽培されています。どのワインにもあてはまることですが、優れた畑に限られた生産者のものになります。

またリースリングは、マロラクティック発酵(リンゴ産を乳酸に変える醗酵)で酸味をまろやかにすることや、新樽で熟成させヴァニラのアロマを付加することも、は相応しくありません。

鬼田知明(有限会社鬼田酒店代表)



# 藤田浩平選手 (カマタマーレ讃岐)、ケガを克服して!



2013年2月、試合中のケガでカマタマーレ讃岐の藤田選手が近森病院へ救急搬送されました。その後、手術とリハビリを経て、8月の復帰戦では見事得点を決められました! 今回、ご本人と所属チームにお願いして、「ひろっぱ」で紹介をさせていただき、手術にあたった衣笠外科部長にコメントをいただきました。



## カマタマーレ讃岐 (Jリーグ2部) MF 藤田浩平選手

最初怪我をしたときは、もうサッカー選手として復帰することはできないんじゃないか、といった気持ちになりました。

しかし、近森病院で緊急手術をしていただき、怪我をしてから約6カ月でもう一度サッカー選手としてピッチの上になつことができました。6カ月のリハビリはとてみづかったですが、もういちどサッカーをしたいという気持ちで乗り越えることができました。

たくさんの人たちに感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張っていきたいと思いません。ありがとうございました。



カマタマーレ讃岐からの提供写真

近森病院整形外科統括部長 衣笠 清人

藤田浩平選手が近森病院に救急搬送されたときは、プロサッカー選手の下肢の外傷としては、最重症度の損傷を受けていました。絶対にピッチに戻してやるとの強い思いで手術を行いました。きついリハビリにも耐え、その思いを達成してくれて外科医としても幸せを感じています。

今後もケアを怠らず、さらに上を目指してがんばって下さい。応援しています。 きぬがさ きよと

## 2015年度 看護師採用試験

日時 7月26日、11月1日、2015年2月21日(いずれも土曜日の9時から)  
 会場 近森病院管理棟3階  
 応募 履歴書(様式不問)は1週間前までに郵送していただくか、ご持参ください。※ 詳細は近森会グループのWebサイトに掲載しています。

### ワッペン、バッジ、広報誌あれこれ 4

## 薬剤部のワッペン



近森会薬剤部  
 薬剤部長 筒井 由佳



「時々、培養出ないんです……」近森病院勤務3年目の薬剤師のつぶやきからこのワッペンは誕生しました。抗菌薬投与後の培養採取では、菌が生えてこない場合があったり、感度が低下したり、起炎菌特定が難しくなり、抗菌薬の選択に影響します。抗菌薬投与前の培養は薬剤適正使用において重要です。つぶやきを聞いて「じゃあ、キャンペーンをしよう!」と話はまとまり、どこかで目に留まるようなワッペンを製作しつけることにしました。薬剤師がデザイン、真ん中の刺繍はよく「牛乳瓶?」と聞かれますが、抗菌薬のバイアルです。当初は薬剤師だけでしたが、今は感染対策委員会のメンバーや整形外科の統括部長もつけてくれています。一薬剤師のつぶやきがこんな形になる、近森病院らしいと思います。最後に「抗菌薬投与前には細菌培養をお願いします!」

つつい ゆか

みんなあ、まちゆうきね

※中途採用希望の方は、お手数ですが近森病院 看護部奥室までご連絡ください。

近森会グループ  
 看護師採用試験  
 2015年度

**必要事項**  
 履歴書を試験日の1週間前までに郵送またはご持参ください。  
 提出先: 〒780-8522 高知市大川原1丁目1-16 近森病院 看護部長室まで  
 代表電話: 088-822-5231  
<http://rsh.hiroimori.com/kango/>

### お知らせ 医療従事者対象

- 第134回地域医療講演会  
 「緊急度判定支援システム JTAS と 院内トリアージ: 最新動向」  
 日時: 6月6日(金) 18:00~19:30  
 会場: 管理棟3階会議室  
 講師: 富山大学大学院医学薬学研究所 危機管理医学講座教授 奥寺敬先生
- 第135回地域医療講演会  
 「頭部スポーツ外傷 ~現場の対応と復帰の目安」  
 日時: 6月18日(水) 18:00~19:30  
 会場: 高知市文化プラザかるぽーと小ホール  
 講師: 東京慈恵医科大学 名誉教授 阿部俊昭先生



## 高知県立大学大学院修了報告

# 職場の仲間や家族に支えられ

総合心療センターデイケアパティオ  
作業療法士主任 川渕 忠義

この3月に高知県立大学大学院（人間生活学研究科）の修士課程を修了しました。私のテーマは、「職場復帰の判定基準について」を研究しました。近年、メンタルヘルスの不調で休職する方が増える一方で、復帰に際しての基準が曖昧であることが指摘されています。

そうした問題を少しでも解決したいという思いから進学を決めたのはよかったです。仕事と学業（研究）の両立、さらには家庭生活とのバランスを考えたとき、自分にできるのかと

いう不安を常に考えながらの院生生活でした。

2年間の履修課程で、週末の土曜、日曜に集中講義や研究指導、平日は仕事を終え、与えられたレポート課題に追われる毎日でした。

私が所属した研究科は、生活科学（生活、栄養、環境）、文化学、社会福祉学といった複合的な視点で人間生活を捉えることを研究、教育する場で、同じ院生のなかには教員、看護師、ソ-



シアルワーカー、栄養士、義肢装具士といったさまざまな専門職の方々がいました。

働きながらの修士課程は時間的にも気持ちもかなりタイトでしたが、職場の理解や院生仲間との支え合い、分野を超えて熱心に指導していただいた教授、なにより家族の支えがあったからこそ実現できたと思います。かわぶち ただよし

## ハッスル研修医 2カ月の研修を終えて



初期研修医 西本 祥大

はじめまして。初期研修医2年目の西本祥大と申します。高知出身で大学も研修も高知と、他の研修医に比べると温室育ちの感があります。県外に出てみたいと思ったこともありますが、自分には高知のゆったりした空気があるように思います。

たすきがけプログラムで1年目は高知大学医学部附属病院で研修し、2年目から近森病院での研修が始まって2か月が経ちました。大学とは違う急性期病院ならではのテンポの良さ、回転の速さについていくのがやっとの毎日ですが、熱心に指導して下さる先生方や充実したコメントカルの方々のおかげで素晴らしい研修を送ることができています。

一方で、回転の速さゆえに病気だけを見ていないか、一人一人の患者さんをきちんと診ることができているか……、研修医ごときが悩むのはまだ早いかもしれませんが、地に足をつけて少しでも患者さんのためになるような医療を行っていきたいと思います。ご指導よろしく申し上げます。

にしもと しょうた

## 乞！熱烈応援

### 新たな一歩として

近森リハビリテーション病院  
リハビリテーション部作業療法士  
療法士長 光永 哲



この度、療法士長の辞令をいただきました。療法士長は近森リハ独自の役割ですが、近年の回復期ではセラピストにも病棟運営等のマネジメントの重要性が問われ、その部分を中心に担うこととなります。マネジメントといってもとても幅が広く、患者さんの退院支援・スタッフ教育等まだまだ知識や活用方法ともに未熟な状態です。今年は回復期セラピストマネージャーの出張の許可があり、得られた知識や情報を現場で活用したいと思います。日々の業務のなかで諸先輩方やさまざまなスタッフの方からのアドバイスを受けながら成長したいと思います。よろしく申し上げます。みつなが さとる

### 看護は大変だけど、おもしろい！

近森病院北館3階病棟  
看護部主任（近森病院教育担当）  
佐藤 久美子



この4月に教育主任を兼ねて北3病棟に配属になりました。現在は病棟業務を覚えることで一杯ですが、今後は、看護行為や患者さんの状態について、「なぜ？ どうして？」を一緒に考え、「だからこうなる、だからこのケアをする」を理解することができ、次の看護につなげることができるよう教育的な関わりを持ち、「看護は大変だけど、おもしろい、楽しい」と思えるようにしていきたいと考えております。また、なんでも相談しやすいように、いつも笑顔で接していきたいと思っております。よろしく申し上げます。さとう くみこ

さとう くみこ

参加：心臓血管外科入江博之部長、佐野俊和医師、麻酔科清水達彦医師

集中治療部工藤淑恵シニア看護師長、手術室中越千陽看護師、総務課広報鍵本由紀

出張先：AATS（米国胸部外科学会）、St.Michael 病院、Tronto General 病院（Sick Kid's）、Temple 大学病院

## 看護師不足のない アメリカ

近森病院集中治療部  
シニア看護師長 工藤 淑恵



両施設ともに施設設備の面でICUは当院と大きな差はありませんが、カートを多用し補充、使用しやすい工夫があり、今後A棟の物品配置に参考にしたいと思えます（Temple 大学病院のICUはすべて個室）。また、両院とも電子カルテはオーダー機能のみ使用しており、フローシート（チャート）は当院と同じく手書きが採用されていました。

St.Michael 病院ではICUの在室は時間単位使用されることも多くあり、術後数時間ICUに在室しケアを受けた後、NP（ナースプラクティショナー：薬の処方などでもできる特別に教育を受けた医師と看護師の間に位置する看護師）の判断で病棟へ転棟するケースもありました。病床管理はNPを中心に、当院と同じように入退室などベッドボードを色分けし、各職種が一目でわかるよう表示されていたり、常勤のスタッフとは別に突然の欠勤などのときは、登録ナースに順番に電話連絡し勤務してもらう制度がありました。

Temple 大学病院の看護師長ボブさんによると、看護師は集中系病棟で働くという雇用契約で勤務しており、みな働く意欲にあふれているようです。大学と連携して学ぶコースや2週間のクリティカルコースなどさまざまな教育コースが確立され、就職先として人気があり、募集で100人ぐらいうすぐ集まるとのこと、現在アメリカには看護師不足はないよううらやましい限りです。

今後当院もさらに教育体制の確立を行っていくことが、看護師確保への鍵となるのではないのでしょうか。リーダーやプリセプター手当として1時間2ドルの手当があり、指導する看護師も大切にされていました。欧米の長期バカンスが有名なため、どのような勤務調整なのかたいへん興味があり質問したところ、8月のお休みは1月に申請して勤務計画を立てているとのこと、その辺はたいへんなようです。



▲転倒防止が施された靴下

最後に両院で気になったのが、ICU患者さんの転倒防止の滑り止めがついた靴下です。入院時に病院から支給され、靴ははかず、その靴下で椅子へのリハビリなどを行い転倒防止に役立っているとのことでした。

今回貴重な経験を今後活かせるよう、さらに自己研鑽して参りたいと思えます。

くどう よしえ

## ダ・ヴィンチによる 最先端手術

近森病院手術室  
看護師 中越 千陽



今回の出張は期間も長く海外ということもあり不安が大きいか、A棟完成に伴い手術室も増えハイブリッドORでの新たな手術が期待されており、なにが少しでも得るものがあり今後活かせることができれば……、という思いで臨みました。が、実際は言葉の壁、語学力の無さに打ちのめされたという感じです。

AATS（米国胸部外科学会）では、一部セッションと企業展示を見学させていただきました。いま現在使用しているものから、今後導入されていくであろう最新の器械や器具を、実際に手に取り体験することもできました。

アメリカ・フィラデルフィアにある Temple 大学病院では、



▲執刀医が操作し、画像は手術室の全員が見られるようモニターに表示される

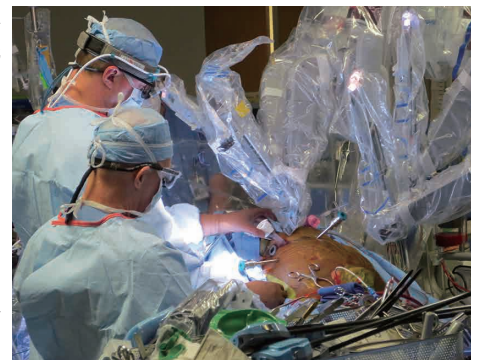
朝の7時から約1時間にわたってのミーティング参加から始まり、MR（僧帽弁閉鎖不全症）に対するロボット支援「ダ・ヴィンチ」による最先端手術（僧帽弁形成術）、ICU入室までの流れを見学することができました。ロボット手術といっても、ロボットが手術してくれるわけではなく、わずか3cmほどの小さな創から内視鏡カメラとロボットアームを挿入して、術者が3Dのモニターを顕微鏡を覗くような形で見ながらロボットアームを操作して行われていました。

この手術の利点としては、何より患者さんへの侵襲が少なく術後の回復が早いことだそうです。しかし、入江部長の話によると、再手術となれば開心術で行われるそうです。そして万が一術後出血などあった場合に備えて、術後ICU入室にはスターナムソー（胸骨切開する器械）を必ず持つて行くのだそうです。

全米ですでに数百台のダ・ヴィンチが稼働されており、そのなかでも心臓手術に使用されているのは10施設の様ですが、日本ではまだわずか40台ほどしか導入されていないそうです。日本での保険適応は2012年4月からの前立腺全摘術のみで、心臓手術を受けるには400万前後の費用が必要だということが背景にあるのかもしれませんが、しかし、先進医療の認可がおり徐々に保険適応となっていけば、もう少し身近なものになっていくのかもしれませんが。

今回、長期間不在に協力してくれたスタッフのみんなに感謝しています。

なかよし ちはる



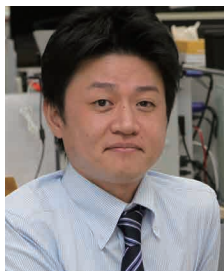
▲ダビンチは蜘蛛手のようだった

よさこいチーム「ちかもり」踊り子募集のご案内

## 5年目の節目を迎え

診療支援部長補佐兼企画課長

よさこい実行委員会代表 山崎 啓嗣



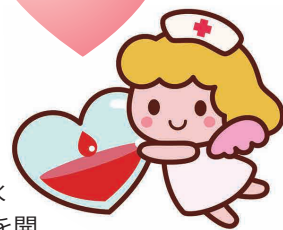
よさこいチーム「ちかもり」は、今年、結成から5年の節目を迎えます。いまでは、多くの方に名前を覚えていただき、チームにも安定感が加わってきたように感じています。チーム発足当時から「ちかもり」のテーマは「縦横夢人」です。初年度から一貫して表現してきたこのテーマ。今年はどんな演舞を披露するのか？ 楽曲、衣装、振り付けなど複眼的に検討を進めています。よさこい発祥の地である本家、高知のよさこい祭り。「ちかもり」のよさこい節では、現代的なアレンジを加えながらも、しっかりと伝統を感じられるそんな視点を大切に、チームづくりを行っています。また、今年は、近森病



院建築5カ年計画の最終年であり、よさこい祭りの開催される8月には、本丸ともいえる近森病院本館Aゾーンが完成予定です。

地域医療を支える体制の構築と共に、祭りも患者さんやそのご家族、地域の皆さんの健康を願って格好よく、派手に、粋に舞いたいと思います。みなさんのご参加、ご声援を宜しくお願いいたします。 やまさき ひろつぐ

## 献血のお礼



5月21日水曜日に献血を開

催しました(400ml)。今回は多くの新人職員も含め、忙しい業務の合間をぬって86名の方にご協力をいただきました。

ご協力いただいた皆さん、ほんとうにありがとうございました。

次回は盛夏に開催を予定しています。

## 始めようPSへの一歩

訪問看護ステーション

ラポールちかもり

看護師 佐藤 理佐



2期生も誕生し人数の増えたPSサポーターですが、PSと聞いて皆さんはどんなイメージをお持ちでしょうか。難しそう、何をやるの? という方もいるかもしれません。私はまず相手への気づきからはじまると感じています。笑顔での挨拶、声を掛けやすい雰囲気、話しやすい相づちなど、相手の立場に立つと思いつかぶこともあると思います。PSの第一歩、周りの人への気づきから始めてみませんか。

さとう りさ

## リレーエッセイ

## ビール部の紹介

近森病院作業療法士 山本 学

自分は、前職からさまざまな部活を行っています。ゴルフ部、映画部、ビール部、メガネ部(ほぼ廃部)、頻回の活動はないですが、とても楽しい部です。そのなかでも、自分にとっていちばんの癒し、ストレス発散の部がビール部です。ビール部は愛媛のアサヒビール工場に行ったのをきっかけに、男3人、女3人のビール好き6人組で結成しました。

部活内容としては「ただ楽しみながら呑む!」それだけですが、ときには利きビールも行い、ほんとうにビール好きかを試してみたりと、いつもワイワイしています。また、県外遠征も行っており、岡山の麒麟ビール工場、京都のサントリービール工場と各メーカーのビール工場も攻略しています。



ビール部としての最終目標は本場ドイツへの遠征です。その前に、北海道のサッポロビール工場も攻めないといけません。市内では「ぐるまん亭(ビールとからあげが最高の店)」をビール部の聖地とし定期的に集会もしています。

ビールは苦手な方も多いでしょうが、ビール工場へ行けばそのおいしさに驚愕します。また、ぐるまん亭もひと味違うビールですので、ぜひ行ってみてください。ビール好きになること間違いなしです。ビール最高! やまもと まなぶ

## 2014年4月の診療数 システム管理室

近森会グループ	
外来患者数	17,724人
新入院患者数	866人
退院患者数	865人
近森病院(急性期)	
平均在院日数	13.63日
地域医療支援病院紹介率	78.97%
救急車搬入件数	420件
うち入院件数	219件
手術件数	390件
うち手術室実施	274件
→うち全身麻酔件数	167件

● 平成26年4月 県外出張件数 44件 延べ人数 85人 ●

## 人の動き 敬称略

### ○昇格人事

◆4月16日付 横畠史佳・近森リハビリテーション病院言語療法科主任

### ○人事異動

●看護部 ●◆4月16日付 徳留裕也・救命救急病棟→SCU / 西田真衣・SCU→北館4階病棟 / 益原奈々・オルソ病院6階病棟→オルソ病院5階病棟

◆4月18日付 西宮理奈・訪問看護ステーションちかもり→北館5・6階病棟

◆4月30日付 中平夏樹・リハ病院3階西病棟→北館3階病棟

◆5月1日付 松本陽子・看護部長室→オルソ病院6階病棟 / 西田奈穂・池田かおり・依光祐里・救命救急病棟→ICU / 田井遙・

● 診療数、出張件数は11面へ ●

## 編集室通信

近森病院の周辺は植物が多く、鳥や野良猫なども暮らしている。数年前には、鳥のヒナが木から落ちて、職員と四国管財さんで協力して、ヒナを樹木の上の元の巣に戻してあげたことがあった。先日は、車にはねられた野良猫に、職員が脛節を添えてあげていた。忙しい業務のなかでも、小さな生き物に優しい眼差しを注ぐ……、あたたかい職場です。(ブン)

## 図書室便り (2014年4月受入分)

- 胃外科のすべて / 胃外科術後障害研究会 (編)
- 医療用医薬品識別ハンドブック 2014 / 医薬情報研究会 (編)
- 生物学的製剤と呼吸器疾患: 診療の手引き / 日本呼吸器学会生物学的製剤と呼吸器疾患・診療の手引き作成委員会 (編)
- ワクチンの基礎: ワクチン類の製造から流通まで 2013 (平成 25 年) / 日本ワクチン産業協会 PR 委員会・編集委員会 (編)
- 予防接種に関する Q&A 集 2013 (平成 25 年) / 日本ワクチン産業協会 PR 委員会・編集委員会 (編)
- 現場ですぐ使える標準看護計画 第1巻 循環器呼吸器消化器脳神経腎・泌尿器内分泌・代謝、第2巻 神経・感覚器血液筋・骨格免疫皮膚・外皮中毒・損傷その他 / 香川大学医学部附属病院看護部標準看護計画検討会 (編)
- 循環器疾患看護 2つの関連図で観る・ケア・根拠 / 瀧本雅昭 (監修)
- ICU ナースの検査値の読み方: 先輩おしえて! / 佐藤麻美 (編著)
- 多職種協働事例で学ぶ退院支援・調整: 時系列でみる! / 石原ゆきえ (他著)
- 新看護方式 PNS 導入・運営テキスト / 福井大学医学部附属病院看護部 (編)
- Advances in aging and health research 2013 在宅の高齢者を支える: 医療・介護・

看取り / 長寿科学振興財団 (編)

### 《別冊・増刊号》

- 別冊整形外科 No.64 小児整形外科疾患 診断・治療の進歩 / 岩本幸英 (編)
  - 別冊整形外科 No.65 人工関節置換術: 最新の知見 / 遠藤直人 (編)
  - 別冊・医学のあゆみエクソーム解析: 成果と将来 / 松本直通 (編)
  - 関節外科基礎と臨床 33 巻 4 月増刊号 主訴からみる診察フローチャート / 筒井廣明 (企・編)
  - 臨床画像 30 巻 4 月増刊号 放射線科医に必要な押さえておきたい超音波診断の基本と最新技術 / 田島廣之 (他著)
  - 病理と臨床 32 巻臨時増刊号 免疫組織化学診断と治療選択の指針 / 「病理と臨床」 常任編集委員会 (編)
  - HEART nursing 2014 年春季増刊 超図解新人ナースのためのすいすい循環モニタリング / 関口敦 (監)
  - Infection Control 2014 年春季増刊 感染対策のための院内ラウンド強力サポートブック / 小野和代 (編)
- ### 《視聴覚資料》
- VIDEO JOURNAL of Japan Neurosurgery Vol.21 No.3, No.4 / 永田泉 (監)
  - Audio-Visual Journal of JUA Vol.20 No.2 / 日本泌尿器科学会 (企・監)